

令和8年度 野木町立佐川野小学校グランドデザイン

<経営理念>

- 1 児童にとって、安全かつ安心な学校づくり
- 2 一人一人の児童の「学び」を大切に作る学校づくり
- 3 教職員が共に学び、共に育ち合う学校づくり
- 4 児童、保護者、教職員、地域が誇りにできる学校づくり

<学校教育目標>

「訓蒙館の伝統を受け継ぎ、夢や目標をもってたくましく生きる子ども」
 ・よく学び 自ら考える子ども ・やさしく 思いやりのある子ども ・よく遊び 元気な子ども

- ・日本国憲法・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・とちぎ教育ビジョン
- 「誰もが自分の可能性を開花させ ともに未来を描くとちぎの教育を表現します」
- ・下地区学校教育の重点「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」を育む学校づくりの推進
- ・野木町教育大綱
- ・野木町学校教育の重点

- ・児童の実態
- ・保護者の実態
- ・地域の実態
- ・保護者や地域の願い
- ・学校運営協議会
- ・野木中学区CS「響き合う心」

- ・学校評価
- ・各種調査
- ・反省等

改善点を検討し仮説を立てる。

くめざす子ども像
 自ら考え、人とつながり、目標に向かって挑戦し続ける子

<児童の合い言葉>
 かがやく自分を育てよう!

くめざす学校像
 ・子どもたちが、この学校で学べてよかった
 ・保護者が、この学校に子どもをあずけてよかった
 ・教職員が、この学校に勤務できてよかった
 ・地域の方が、この学校が地域にあってよかった
 と思う学校

くめざす教職員像
 自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師
 ・人間性豊かで信頼される教職員
 ・児童一人一人の豊かな自己表現を支援する教職員
 ・特性を発揮し、確かな指導力をもった教職員
 ・教育的愛情と使命感をもった教職員

学校経営の方針

(1) 教育活動の活性化と充実を図る。

- ① 児童の将来を見通した、活気と潤いのある教育活動の推進
- ② 教職員個々人の特性の発揮と、組織による教育活動の推進(教職員全員が、全児童の担任)
- ③ 幼保小中の密接な連携を図った教育活動の推進(小小交流も)
- ④ 学校(学年)行事等の活動内容の精選と充実
- ⑤ 職員会議等各種会議の議事内容の精選と効率化

(2) 特色ある教育課程の編成と実施に努める。

- ① 特別支援教育の充実と指導体制の確立(インクルーシブ教育システムの推進)
- ② 各教科における基礎的・基本的内容の確実な定着
- ③ 道徳の時間を要とし、全教育活動を通した「心の教育」の充実
- ④ いじめや不登校などへの適切な対応と指導体制の整備
- ⑤ 児童や地域の実態を生かした「総合的な学習の時間」の推進(食農教育の充実)
- ⑥ 英語教育の充実(オンライン授業・海外とも)
- ⑦ ICTの有効活用のための研究と推進
- ⑧ 学びの森小学校、地域の方との交流の充実

(3) 教職員の資質の向上を図る。

- ① 教職員個々人の学校経営への参画意識の高揚と職務の厳正
- ② 学習指導要領の趣旨の確実な理解に基づく教育課程の編成と実施
- ③ 教職員の資質向上のための研修体制の整備(一人一研究授業、要請訪問等)
- ④ 学校外での研修についての整備・Plantによる記録(履歴の管理)

(4) 学校内外に開かれた学校づくりを推進する。

- ① 社会に開かれた教育課程の編成と実践
- ② 教育の成果を「児童の姿」で発信する意識の確立
- ③ 学校評価の効果的な活用(教育目標推進プロジェクトとの関連)
- ④ 教職員の同僚性に基づく相互理解の促進
- ⑤ 「報告・連絡・相談・確認」の徹底による共通理解の促進
- ⑥ 教育活動の積極的な発信(学校HP、学校だより、学年だより等)

ウェルビーイングの実現

<今年度の重点・努力点>

◎インクルーシブ教育の推進により、『多様性を重視し、共に学び、よりよく生きる児童』を育成する。

『学力UP』 よく学び 自ら考える子ども	『心力UP』 やさしく思いやりのある子ども	『体力UP』 よく遊び元気な子どもの育成
☆基礎学力や表現力の育成、主体的な学習習慣を身に付けさせることで、全ての子どもの学びを保障する。 ◎「主体的・対話的で深い学び」のある授業の工夫・改善(個別最適な学び、単元内自由進度学習の実現に向けて) ◎UDの視点を生かした学習指導 ◎MIMIによるアセスメントの実施と支援の充実 ◎ICT機器の有効活用(オンライン交流・プログラミング教育・デジタル・生成AI) ◎英語教育の充実(オンラインブレンデッドによるALTとの一対一の対応、海外の学校との交流) ◎食農教育を柱とした探究活動の充実(生活科・総合的な学習の時間) ◎学力調査(全国、とちまるチェック等)の結果分析と指導の改善 ◎学習習慣の定着(家庭学習、自主学習のすすめ)	☆一人一人の子どもが安心して学校生活を送ることができるようにする。 ◎一人一人を大切に作る温かな集団づくり～心理的安全性の～高い集団 ◎道徳教育の充実 ◎「言の葉」指導の充実 ◎時と場に応じたさわやかなあいさつの励行(伝わるまで)「響き合う心」(野木中学区CSテーマ) ◎読書活動の推進(読書ノートに積み重ねる)(家読のすすめ、読み聞かせ) ◎心に響く児童指導 自力解決できる判断力と実行力の育成(発達支持的生徒指導) ◎福祉施設との連携推進	☆基本的な生活習慣を身に付けるとともに、健康で安全な生活ができるようにする。 ◎めあてを明確にした体力づくり(生涯スポーツ) ◎外遊びのすすめ(ファミリー班共遊など学年を超えた遊び) ◎健康で安全な生活習慣の育成と地域とともに安全対策(早寝、早起き、朝ごはん、外遊び) ◎食育の推進と感染症の予防(農園活動を生かして) ◎様々な自然災害、不審者侵入等を想定した避難訓練の実施 ◎保護者や地域と推進する安全(防犯)対策

<学校課題> 「インクルーシブ教育の視点に立った主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり」
 ～すべての子どもが学び合い、それぞれの力を発揮できる授業の工夫～

<教職員の働き方改革> ◎職場における心理的安全性の確立＝「風通しの良い職場環境」 ◎参画意識の高揚と協働体制づくり ◎各種行事の見直し ◎諸会議内容の精選 ◎データの共有 ◎適切な勤務時間管理(定時退勤日の設定) ◎業務改善委員会の開催

<家庭・地域等との連携・協働> ☆コミュニティ・スクールによる、地域や保護者と共に子どもを育てる教育活動を実践する。
 ●地域と共に行う行事 ○訓蒙館祭、○佐川野つふれあい大運動会 ⇒ 実行委員会との連携、○農園活動(さつまいも栽培、田植え・稲刈り、トマト栽培等) ●「チーム学校」による包括的支援体制の充実(SC、SSWとの連携) ●情報共有と発信(学校運営協議会・PTA 総会・学校説明会・学級懇談会・各種たより・HP等) ●ボランティア等による登下校の見守り他 ●佐川野分館、自治会等外部組織との連携・協働 ●民生委員、主任児童員との懇談会